

幸運袋の争奪戦白熱

五大尊蘇民祭

約330年の歴史を持つ光勝寺（石鳥谷町五大堂）の伝統行事「五大尊蘇民祭」が2月3日、同寺で開かれました。
護摩法要に続き行われた蘇民袋の争奪戦には、上半身裸に下帯を巻いた男衆約20人が参加。「ジャッソー」と掛け声を上げながら組み合いを繰り返して、白熱した肉弾戦を展開しました。
約1時間の奪い合いの末、第一取り主となった小原広任さん（石鳥谷町八重畑）は「家族が1年健康に過ごせれば」と喜びを話していました。



蘇民袋をつかもうと、白熱した肉弾戦を繰り返す男衆

文化財愛護の意識を高める

東和地域防火訓練

1月29日、薬師神社（東和町土沢）で「東和地域防火訓練」が行われました。
同訓練は、文化財愛護と防火意識の高揚を図ることを目的として、文化財防火デー（1月26日）の前後に毎年実施。消防団や婦人消防協力隊、地元住民など76人が参加し、物品搬出や中継送水訓練のほか、消火器初期消火訓練などが行われました。
同神社担当の熊谷敬一さんは「神社役員と地域住民が力を合わせて火の用心をしていきたい」と防火意識を新たにしていきました。



神社付近で放水訓練を行う消防団員

好プレーに活気あふれる

長くつアイスホッケー大会

2月5日、石鳥谷町体育協会主催の「長くつアイスホッケー大会」が石鳥谷アイスアリーナで開催されました。
ことしで19回目を迎えた同大会には、地元チームのほか初参加の大迫町チームなど6チームが出場。選手は滑ったり転んだり長靴でのゲームに苦戦しながらも熱戦を繰り返して、好プレーで会場を沸かせました。
高橋淑郎大会長は「参加資格などを見直して門戸を広げ、多くの人に参加してもらえる大会にしていきたい」と話していました。



懸命にパックを追う選手の皆さん

賢治ゆかりのまちづくり

第57回

賢治ゆかりの地
御旅屋

御旅屋は、神社を出たみこし（御神体）を一時的に安置する休息所です。

東町のホテル花城がある場所には、かつて朝日座という劇場がありました。その劇場の前に御旅屋があり、この場所は町の広場としての機能も持っていました。現在は「鳥谷崎神社」と刻まれた石碑が建立されています。

賢治の童話「祭の晩」にも、この「御旅屋」が登場します。

『山の神の秋の祭りの晩でした。亮一はあたらしい水色のしこきをしめて、それに十五銭もらって、お旅屋にでかけました。「空気獣」という見世物が大繁盛でした。』
—童話「祭の晩」より抜粋



▲御旅屋跡に建てられている石碑



花巻まつりでは、御旅屋にあつたお堂に鳥谷崎神社のみこしが泊まりました。その境内にはサーカスや見世物小屋が建ち、周囲には露店もたくさん立ち並んだそうです。
そんな情景を見て賢治は童話「祭の晩」の創作意欲をかき立てられたのではないのでしょうか。

【問い合わせ】

本庁賢治まちづくり課
(☎)24・2111 内線365

The world and HANAMAKI 世界と花巻 vol.46



花巻市国際都市推進員
ガットマン・ジェシー

生活習慣「挨拶」

今回は、英語での簡単な挨拶について紹介します。実は、これは勘違いの多い話題です。

まず、「hello」という言葉は「こんにちは」という意味ですが、少し硬い言葉です。よりネイティブらしい挨拶をするなら「hi」もいいですが、実は「hey」の方がよく使われます。このことを紹介すると「それは失礼な言葉でしょうか？ 学校で駄目と言われた」と驚かれます。もちろん、怒りに満ちた激しい声で叫ぶと荒っぽい呼び掛けになりますが、普通は人懐く好意的な挨拶で、英語の映画やテレビ番組ではよく使われています。また「おはようございます」という場合は「good morning」ですが、よりフレンドリーなのは「morning！」です。「こんばんは」の意味で使われる



GOOD EVENING...

「good evening」はイラストの人が使うような古めかしい感じがかり、実は儀礼的なとき以外にはあまり使いません。「good evening」の代わりに「hi」や「hey」を夜に使っても大丈夫なのです。

私が最も大切だと感じることは、初対面の人でも特別な言葉ではなく、普段使っている言葉で挨拶の方がいいということです。定住外国人の多くが知らない人から英語で挨拶された経験があると思いますが、相手に悪気はなくても少し他人行儀な感じを受けます。一方、日本語で挨拶されると、大抵の人は自分も普通の人だという気持ちになり普段の自分が出せます。単なる挨拶だけで、違和感が生じるか親しい雰囲気になれるかが変わるので、これは「コミュニケーション」という広いテーマにもつながるとも大切なことですね。